

.....

むくげ食道楽

焼肉「みなみ」

尹 英順

(むくげ通信206号、2004年9月)

.....

今回のグルメの会は、西宮今津高校教諭で兵庫在日韓国朝鮮人教育を考える会・小西和治さんの推薦で、むくげゲストデイにも来てくださったことのある、全国在日コリアン保護者会代表・李鍾順さん（写真下）「の焼肉店「みなみ」へ。



参加者は、佐久間さんを除いたむくげメンバー（7人）と推薦者・小西さんと私（紅一点！）の9人。お店は8月にオープンしたばかり。阪急宝塚線「小林」東出口から徒歩15分。お店に入るとジョンスンさんと娘のスヨンちゃんが笑顔で迎えてくれ、奥の座敷へ。入って左側が7人程座れるカウンターと右側は4人がけのテーブルが2つ（座敷）。

今日は堀内さんのお誕生日（9.11!）。ナムルとキムチ盛り合せをあてに生ビールで祝杯「コンペー！」喉をうるおすとタレが運ばれてきた。”うん？塩タンのレモン汁にしては量が多いなあ、あれ？ネギが浮いてる...”なんて思っていると、誰かが”「紅梅苑」と同じや！”と言った。それもそのはず、この「みなみ」は、むくげメンバーも良く知る

『歌劇の街のもうひとつの歴史～宝塚と朝鮮人～』著書・鄭鴻永さんのお姉さん夫妻のお店で、こちらが本店。お店の「みなみ」は、ご主人の名字南（ナム）さんを日本語読みにしたとのこと。縁あってナム夫妻からジョンスンさんが譲りうけたのでした。この日は団体予約（私たちグループ）が入ってるからと鄭鴻永さん



のお姉さん（写真左下）が助っ人に来てくださっていた。その事がわかると皆、一斉にお姉さんが鴻永さんに「そっくり！」と喜んで



メインのお肉は大皿に盛られ豪華そのもの（写真をご覧ください！）。お肉は分厚く、秘伝のだし汁につけて食べるとサッパリして食べやすい。これだと胃にもたれ無いかも。この日は、飛田さんの顔！？（人徳）で、手に入りにくい池田のお酒「呉春」（一升瓶）まで出してくれたのでした。う～ん、なんて優しくまろやかな味。美味しい～。皆、つつい呑み過ぎて一升瓶は、あっという間になくなったのでした。おおいに呑んで、お肉を堪能したあとは、クッパでしめくくり。久々に参加した「グルメの会」大満足でした！！



「みなみ」宝塚市末成町 27-4（阪急今津線 小林駅 東約 900m 高司中学前 ガソリンスタンド ENEOS 裏、TEL 0797 (72) 5220)